指定管理者制度導入施設の運営状況（令和７年度）

１．施設名等

施設名	大分県身体障害者福祉センター	所在地 電話番号 ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	大分市大津町２丁目１番４１号 ０９７－５５８－４８４９ http://www.sc-oita.net/

２．指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名　称 所在地 指定期間	社会福祉法人　大分県社会福祉協議会 大分市大津町2丁目1番41号 令和3年4月1日～令和8年3月31日	県の所管部課（局・室）	福祉保健部　障害者社会参加推進室 TEL：097-506-2725

３．施設の概要

設置年月日	昭和６１年４月１日
設置根拠	大分県身体障害者社会参加支援施設の設置及び管理に関する条例
設置目的	身体障がい者の社会参加支援を行い、福祉の増進を図る。
事業内容	①身体障害者に対し、生活相談に応じるとともに、機能回復訓練、スポーツの指導、教養の向上その他身体障がい者の福祉の増進に関する業務 ②施設の建物及び設備等の維持管理及び修繕に関する業務 ③施設の利用の受付及び案内に関する業務 ④施設の利用の許可に関する業務 ⑤その他、知事が特に必要と認める業務
施設内容	１階：体育室、プール（温水）、機能回復訓練室、療育訓練室、卓球室、交流談話室、事務室 ２階：視聴覚室、生活訓練室（和室、洋室）、創作作業室、感覚訓練室、調理実習室、娯楽室
使用料等	個人使用料 温水プール　幼児・小学生　1人1回　70円／1人11回　650円 温水プール　中学生　1人1回　100円／1人11回　1000円 温水プール　一　般　1人1回　170円／1人11回　1700円 機能回復室　1人1回　340円／1人11回　3400円 卓　球　室　1台1時間　170円 ※障がい者は無料 専用使用料 体　育　館　アマチュアスポーツに使用する場合　身体障害者福祉関係団体　1時間　全面　340円／半面　170円 体　育　館　アマチュアスポーツに使用する場合　その他のもの　1時間　全面　1020円／半面　510円 体　育　館　その他に使用する場合　身体障害者福祉関係団体　1時間　全面　1120円／半面　560円 体　育　館　その他に使用する場合　その他のもの　1時間　全面　3360円／半面　1680円 温水プール　身体障害者福祉関係団体　1時間　1120円 温水プール　その他のもの　1時間　3360円 ※障がい者福祉関係団体の免除あり
閉館日	月曜日、祝日（土日を除く）、年末年始（１２月２９日～翌年１月３日）

４．目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率（%）
障がい者の利用者数（人）	令和4年度	25,500	17,886	70.1%
	令和5年度	27,000	19,014	70.4%
	令和6年度	27,000	22,809	84.5%
	令和7年度	27,000	25,171	93.2%
施設利用者満足度〔5段階〕	令和4年度	4.50	4.68	104.0%
	令和5年度	4.50	4.77	106.0%
	令和6年度	4.50	4.67	103.8%
	令和7年度	4.50	4.75	105.6%

５．施設の利用状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数（人）	令和4年度	3,784	3,912	4,933	4,927	3,981	4,423	
	令和5年度	4,748	4,644	5,040	5,401	5,468	5,445	
	令和6年度	4,833	4,899	5,275	5,758	6,096	5,569	
	令和7年度	4,909	5,493	5,486	6,410	6,562	5,885	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和4年度	5,372	4,549	4,039	3,308	3,749	4,686	51,663
	令和5年度	7,143	3,825	3,339	3,233	3,797	4,098	56,181
	令和6年度	7,461	5,067	4,252	4,312	4,145	4,604	62,271
	令和7年度	5,781	7,641	4,680	4,545	4,327	4,717	66,436

６．利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	利用者アンケートについては、体育施設利用団体（障がいスポーツ団体）・文化施設利用団体（会議室・訓練室使用団体）・個人利用者等を対象に実施した。
	実施結果	（個人） 「満足」78.8%、「やや満足」20.0%、「どちらともいえない」1.3%、「やや不満」0.0%、「不満」0.0% （団体） 「満足」78.2%、「やや満足」18.5%、「どちらともいえない」2.5%、「やや不満」0.8%、「不満」0.0%

利用者等からの主な意見・要望・苦情	左の対応状況
体育室の照明が暗い	体育室のLED照明の不点灯箇所が半分を超えている。施設管理者である県において、令和8年度中の修繕を予定している。
冬季の温水プールが利用しにくい	冬季（11月～3月）は毎週土曜、日曜を利用可能としていたが、利用者からの要望を踏まえ令和7年度からは毎週金曜も利用可能とし、より多くの方に利用していただけるよう対応している。
プールの利用にあたり、親子で利用できる更衣室を設置してほしい	更衣室内に間仕切りを行い、親子で利用できるスペースを新たに設けて対応している。

７．サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	1 身体障害者福祉センターのホームページを更新し、行事等のお知らせや、センターの大会結果などを分かりやすく情報提供している。施設の利用予約についても、同ホームページから県の予約システムを介して予約できるようになっている。なお、ホームページのアクセス件数は、66,717件で対前年度比+23,447件、＋135.1%となった。 2 施設料金の支払いにあたっては、キャッシュレス決済の導入を行い、利用者の利便性の向上を図った。 3 関係機関へのセンターパンフレットの配布のほか、FacebookやInstagramといったSNSを運用し、積極的な情報発信に取り組んでいる。 4 体育室の空調設備のフィルターを交換し、冷暖房機の効果向上に取り組んだ。
イベント等の充実	1 障がいのある人もない人も趣味や娯楽等を通じてともに楽しむ空間を提供する「あすぴあ倶楽部」（切り絵・折り紙・将棋・囲碁）を開催し、12回の開催で延べ236名（うち障がい者110人）が参加した。 2 「あすぴあフェスタ2025」を11月23日に開催、延べ3,100人が参加した。 （内容） ①アンサンブル太陽　吹奏楽演奏　②ドローンサッカー体験、eスポーツ体験 ③ふれあいマーケット・キッチンカー　④スカットボール・吹き矢体験 ⑤動物・昆虫展示　など 3 「夢物語作品展」を3か所の商業施設等で開催し、絵画・造形、書道、絵手紙、切り絵・折り紙の作品全99点を展示した。 4 障がい者の輝く場や交流の場を創出することを目的に、eスポーツの体験教室や体験型講習会を開催した。 （１）ドローンサッカー ①体験教室　8回　延べ142名 ②あすぴあフェスタ２０２５　11月23日　108 （２）ｅスポーツ ①教室（障がい者・児その家族対象） 5回　延べ80名

８．管理に係る収支の状況

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	**令和7年度**
収入額（A）		58,038	59,017	63,773	66,380
内訳	県からの委託料	56,081	54,943	62,817	65,272
	利用料金	0	0	0	0
	事業収入	67	229	293	240
	自主事業収入	0	0	0	0
	その他（負担金等）	1,890	3,845	663	868
支出額（B）		58,038	59,017	63,773	66,380
内訳	人件費	30,349	32,864	32,329	33,811
	維持管理費	19,951	19,305	22,723	22,742
	事業費	7,738	6,848	7,841	9,827
	自主事業費	0	0	0	0
	その他（繰出金）	0	0	880	0
収支差額（A－B）		0	0	0	0

９．施設使用料等の収入状況

利用料金（千円）	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和4年度	168	170	197	195	196	174	
	令和5年度	155	162	143	172	195	162	
	令和6年度	151	157	166	172	194	173	
	令和7年度	160	181	168	205	229	194	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和4年度	160	128	144	137	150	165	1,984
	令和5年度	138	115	103	106	154	155	1,760
	令和6年度	172	140	147	121	142	141	1,876
	令和7年度	159	168	149	126	153	195	2,087

１０．指定管理者の管理体制

施設管理体制	社会福祉法人　大分県社会福祉協議会 所長１名、副所長１名、主事２名、事務員（プール監視等）４名、事務員（受付事務等）１名							
	職員数 （R7.4.1）	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
		3	0	1	0	5	0	9

１１．適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	1　下記の外部研修等を通して職員の資質・能力向上に努めた。 ・社会福祉施設等新任職員研修　2日、2名　　・普通救命講習　1日、1名 ・防災士養成研修　3日、1名　　・人権研修　2日、9名 ・総合防災訓練　1日、3名
防災に関する研修・訓練	1　リスクマネジメントの徹底を図るため、「大分県身体障害者福祉センター事故対応マニュアル」に基づく救急訓練を実施し、消防、救急病院等と連携した即応対制の構築に努めている。 2　自然災害発生時の対応に向けて、総合社会福祉会館全体で、地震と津波を想定した避難訓練を1回実施した。なお、利用者が迅速に避難することができるよう避難誘導マップを館内に掲示している。
安全対策等	1　プールの安全管理や、施設の日常的な巡回・点検を実施し、事故防止に向けた取組を行っている。また、水泳プール安全管理講習会に毎年職員を派遣し、監視のポイントや水質管理に関する意識向上を図っている。加えて、換気が困難な男女更衣室については、オゾン発生器を設置し、常時、室内の殺菌・脱臭を行うなど安心・安全な空間づくりに努めている。 2　夏場の熱中症対策として、センター内の温度や湿度の管理を徹底するとともに、体育室では大型ファン（2台）や気化式大型冷風機（1台）、換気装置を常時稼働させるなど、快適で安全な施設環境づくりに努めている。 3　「大分県身体障害者福祉センター事故対応マニュアル」に基づき、事故発生の未然防止、発生時の措置等をセンター内で共有している。 4　プール事故の未然防止に備え、7～8月は、監視員を1名増員し常時2名体制としているほか、プールサイド4か所にロープ付浮き輪を設置し、安全対策を強化した。